

石川県消防防災ヘリコプター

BELL412EP JA893F

はくさん

ISHIKAWA

FIRE AND DISASTER

AIR RESCUE TEAM



大空から県民の安全・安心を！

消防防災ヘリコプターの紹介

【機体の主な装備】

はくさん JA893F

○ 性能概要

| | |
|--------|---------------|
| 機体形式 | ベル式 412EP 型 |
| 定員 | 15名 |
| 全長 | 17.1m |
| 全幅 | 2.8m |
| ローター直径 | 14.0m |
| 全高 | 3.5m |
| エンジン形式 | 双発タービンエンジン×2基 |
| 最大出力 | 900HP×2基 |
| 最大重量 | 5,398kg |
| 航続距離 | 700km |
| 巡航速度 | 204km |

動態管理システム



衛星通信を利用して航空隊事務所や県庁において、ヘリコプターの位置情報などをリアルタイムに把握しています。

リジウム衛星電話



リジウム衛星を利用した電話装置で、電波不感地帯がなく地上の電話装置と通話ができます。

投光装置



夜間等、地上の各種行動の支援、捜索等に使用します。
(光度 3,000 万カンデラ)

機外拡声装置



災害時の避難誘導や各種広報に活用します。
(出力 700W)

ホイスト装置



隊員を降下させたり、吊り上げて救助します。
(吊上能力 272Kg)
(ケーブル最大長 76m)

救急医療用ベッド



高度救急医療処置を実施しながら傷病者を搬送します。(収納許容重量 91Kg)
(傷病者許容重量 86Kg)

カーゴフック



救援物資、その他の重量物で機内に搭載できないものを吊り上げ、輸送します。(吊上能力 2,041Kg)

ドロップタンク



機体下面に取り付け、ダムや湖などの水を吸い揚げ、山林火災等で消火活動します。(容量 1,225ℓ自給式)

【資器材】

救助資器材



個人装備資器材



救急資器材



災害は我々に任せてください！

LEAVE THE DISASTER TO US!



航空隊の主な活動

救助活動

山岳事故や水難事故など、陸上からの救出が困難な場所で上空からホイスト装置を使い、航空隊員が降下して要救助者を吊り上げ救助します。



自然災害や大規模事故などの情報収集、及び救護物資や人員等の搬送を行います。

災害応急対策活動

総務省消防庁の要請で、緊急消防援助隊として大規模災害での被災地(東日本大震災等)に出動します。



救急活動

救急隊や医療機関と連携し、負傷した傷病者に応急処置を継続しながら病院へ搬送します。

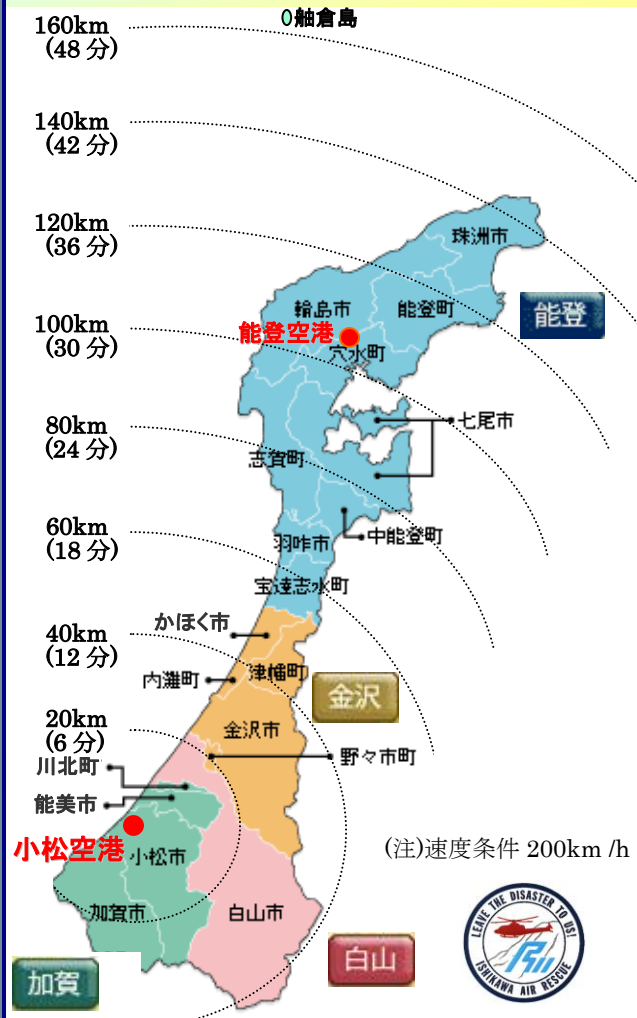


火災防ぎよ活動

機体下面にドロップタンクを装着、山林火災などで空中消火を行います。



小松空港から県内各地への所要時間



石川県航空消防防災グループの概要

1 編 成

グループリーダー 1名

航空隊員 8名 (隊長 1名、副隊長 2名、隊員 5名)

運航クルー 4名 (機長 1名、整備 2名、運航管理 1名)

※ 民間航空会社に運航委託

2 運航体制等

運用開始 平成9年4月23日

運航体制 365日 (日の出から日没まで)

3 ヘリコプターのデザイン・愛称

デザイン 消防のイメージカラーの「赤」、白山の雪の「白」、能登半島の外浦と内浦を表す「青」の三色

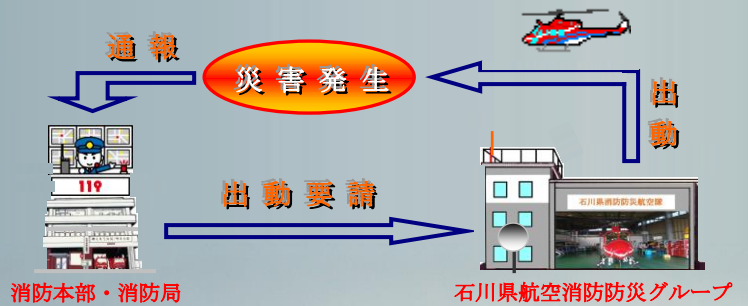
愛称 「はくさん」

由来: 石川県の南側に位置する高さ2,702mの白山より

4 任 務

救助、災害応急対策、救急、火災防ぎよ、災害予防及び一般行政活動

5 要請から出動までのフローチャート



石川県危機管理監室消防保安課

航空消防防災グループ 〒923-0993 小松市浮柳町小松空港内

TEL 0761(24)8930 FAX 0761(24)8931 E-mail ja893f@pref.ishikawa.lg.jp